

議会だより

「美郷がいちばん、好きです美郷」



本堂城跡に飛来する白鳥

(餌となる古米などの提供をお願いします)

毎年世話をしてくださっている安部雄太郎さん

主な内容

- P 2 ~ 5 指定管理者を決定.....12月定例会概要
- P 7 交流都市を表敬訪問.....視察報告
- P 8 ~ 16 9人の議員が町政を問う.....一般質問
- P17 傍聴記
- P18 シリーズ「キラリ美郷人」

13公共施設の 指定管理者を決定

全て既存管理者に委託



ヘルス観光が指定管理者となった千畑温泉

12月定例会を、12月13日から16日までの4日間の会期で開きました。審議した議案は、条例の制定や一般会計補正予算など45件。その中で、条例制定の2議案が賛成多数で、その他の議案は全員賛成で原案のとおり決めました。また、一般質問は9議員がおこない、町政をただしました。

今定例会では、これまで公設民営で運営していた13施設（10箇所）の指定管理者を決め、その管理条例を定めました。

また、平成十七年度美郷町一般会計補正予算に1億9千715万5千円を追加し、補正後の予算総額を128億5千53

5万円としました。（詳細は、町広報1月号の6〜9頁をご覧ください）以下、本会議での主な質疑と答弁を要約しお伝えします。

指定管理者

（株）千畑ヘルス観光を指定した施設について

経営努力 しているか

吉野議員 この制度は、民生活用で経営努力を促し、自治体の経費を削減する目的もある。

補助金を受けている施設の事業計画書はどんな内容か。

商工観光課長 補助金の計画願いでは、本来町が経営すべき温水プールの

年間経費に1千200万円計上しているが、来年度予算編成で協議したい。紫織里や産物館、サンアール宿泊棟関連の維持管理費の補助金は約500万円。従来の経費と同額だが、営業利益を見込んで利用者に還元しており、指定管理者として妥当と認めた。

吉野議員 町は、将来温泉施設の整理統合を計画しているが、どんな形態を想定しているか。

商工観光課長 町直営の湯とびあ、町が単独出資の有限会社あったか山、民間の方々や農協・商工会などが出資した株式会社千畑温泉と、あまりにも形態が違う。

株主との協議も必要で時間がかかるが、18年度中に方向性を見きわめた。

農村交流館は 直営か

戸沢（藤）議員 農村交流館は指定管理者の対象

にしないのか。
農政課長 農村交流館と体験農園は、農政課で直接管理したい。

一体管理 すべきだ

中村（利）議員 地域の一角を区分して管理するより、地域一帯を一体管理すべきだ。

農政課長 経費面で大幅に違うので分離した。

中村（利）議員 指定管理者を育成する期間の必要もある。経費の差額はどれだけあるか。

農政課長 予算要望中では言えないが、試算した結果だ。

堆肥センター

委託先は

中村（美）議員 18年度建設予定の堆肥センターは、ヘルス観光に管理委託するのか。

農政課長 完成後、アクティセンターと一体的な管理をしたいが、管理の委託先は今後検討する。

補正予算

耐震工事の強度は幾らか

森元議員 小中学校の耐震工事は、震度幾らに耐

える工事が。学務課長 小中学校の耐震工事は、震度6強から7に耐える補強工事をして



補強工事を行った六郷中学校

人事案件

教育委員

清水 猛氏(再任)
美郷町六郷

人権擁護委員

藤井康子氏(再任)
美郷町六郷



どう対応する 児童の安全面

武藤議員 下校時のスクールバスを、部活などで利用できない児童もいる。

児童の安全面から、小学3年生までの学童保育や、園児の延長保育を見直すべきだ。

幼児教育課長 学童保育は、施設の現状から高学年児童を受け入れる状況ではない。また、国の補助事業なので規定どおりに行いたい。

延長保育は、午後7時までだが、保護者が迎えにくるので問題ない。

武藤議員 旧千畑は山で二分され、人家が少ない箇所もある。また、過去に不審者騒動もあった。町は、そんな危険箇所を把握しているか。

学務課長 各学校で、地域安全マップを作成して把握し、それに基づいて職員と保護者の協力で巡回している。
しかし、全通学路の力

バーには、地域の協力が不可欠だ。千畑南小学校が、地域と協力して行っている『子ども見まもり隊』活動を各学校に広めたい。

部活支援に 町有バスを

武藤議員 スポ少や部活動への支援で、町有バスをもっと貸しだせないか。また、自前の場合、補助をだせないか。

総務課長 福祉関係などいろいろな団体から申請が来るが、運行規定を設け対応している。原則として、単なる輸送や慰安などでは運行できず、使用の目的や内容を判断しての対応となる。

留保金は予備費 計上すべきだ

吉野議員 地方交付税の留保分が、2億1千万円あるとの説明だった。それなら、予備費計上すべきではないか。
総務課長 地方交付税

は、当初予算で歳入欠陥が生じないよう見込みより減額している。7月頃確定するが、その時点で予備費計上すれば膨大な額になる。予備費は、制度上議会に諮らなくとも流用でき、透明性を期すため計上せずに公表した。

増額変更 厳格な審査を

深沢議員 今回、工事請負契約の増額変更が3件あり、総額で1千200万円の増だ。この場合、既存業者がそのまま受注し競争原理が働かない。変更での審査も厳格と思うが、その体制を伺う。

道路測量 レーズ用か

飛沢議員 サテライト六郷より西の道路測量は、国体の自転車ロードレースのためか。

国体準備室長 ロードレースは、カントリーより450メートル西からスタートする予定だ。そのコースの安全対策で測量している。

簡易水道特別会計

補正予算

水源を 畑屋簡易水道に

武藤議員 羽貫谷地区上水道の水源を、水量が多く加入率が低いと思う

畑屋地区の簡易水道に求められないか。
建設課長 畑屋簡易水道の給水人口は、870人で水量は十分にあると思う。

条例2議案が賛成多数で可決

条例制定

美郷町国民保護協議会
条例の制定について

《賛成多数で可決》

慎重審査を 求める

熊谷(良)議員 国民保護法による町の条例化には、まだ時間があると思うがその時期と予算の裏づけは。

住民生活課長 県は、本年度中に計画策定し、町は、条例などの整備をして18年度中に計画策定する。費用などの予算計上は、十八年度補正で対応したい。

熊谷(良)議員 鳥取県の訓練では、最前線を自

衛隊が担当したが、実際は米軍があたると思う。

この条例は、国会でも十分な審議をせずに可決した有事7法案の一つ米軍行動円滑化法案を裏づけるものと考え、慎重審査すべきと思う。

住民生活課長 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律は、国・県・市町村の役割を区分し、市町村が行う国民保護の役割を、住民の避難誘導や災害復旧としている。県は、すでに条例化した。町では議員協議会で採みながら計画策定にあたりたい。

武力攻撃事態を どう考える

泉(美)議員 県の条例化では、県民への周知が十分でなかった。また、国会審議でも他国から攻撃を受ける可能性が低いことを政府が認めている。町長は、武力攻撃事態をどう想定しどう考えるか。町長 法律として制定された国民保護法に基づいて、今定例会で対応する考え方だ。

泉(美)議員 保護の名のもと、住民を統制する法律だといわれていることを勘案し、もっと慎重に議案提出すべきだ。住民生活課長 計画書の策定は18年度中に行うが、その前段に組織など

の条例化が必要なので提出した。計画策定は、慎重に対応したい。

【反対討論】

泉(美)議員 国民保護法は、自治体や公共機関、民間企業に戦争協力の計画づくりや実行を迫り、平時から戦争に備える体制をつくるものだ。アメリカ軍や自衛隊が軍事活動を自由に行うため、国民保護の名で国民を統制・管理・動員する法律だ。この議案は、それを具体化する条例なので賛成できない。

【賛成討論】

深沢議員 昨今、テロなどの武力攻撃が多発している中、当町としても他人事とは言えない。それに備えた審議のために、条例として制定すべきだ。

美郷町国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について

《賛成多数で可決》

【説明】先に可決した、美郷町国民保護協議会条例に関連する条例案で、泉(美)議員による同趣旨の反対討論がありました。

財産譲与

仙南村種苗センターの譲与について

補助金の 返還はないか

飛沢議員 議員協議会では、補助金事業だが返還はないとの説明だった。それは、県と協議した結果か。農政課長 県との協議のうえで、施設の設置目的が変わらなければ返還する必要はないとのことだった。



秋田ふるさと農協へ譲与する種苗センター

工事契約変更

町道大荒田・高田線道路改良工事契約の変更

工事時期に問題ないか

飛沢議員 今年は、非常に早く降雪した。

この時期に、舗装工事の追加は問題ないか。

建設課長 工事期間が十分あり、天候をみはかりながら対策を考えたい。

飛沢議員 すでに、完成期日が過ぎた箇所もある。降雪による遅れと困る。

町は、監督責任を果たして欲しい。

建設課長 当然、監督責任がある。時期や時間帯を考慮した施行がベストだが、この時期の大雪で遅れている。

指導には、十分配慮したい。



今年の大雪に埋もれた工事現場

雪国創造事業管理休憩施設建設工事契約の変更

請負差額は不用額は

吉野議員 建設関係事業は、請負差額を前提にして後で追加する工事が多いように思う。

最初から、計画できる工事はそれを含めて入札し、差額は不用額としてそのまま計上するか、予算上の理由で落とされた

ものに充てるべきだ。商工観光課長 今回取り除く支障物は、当初計画で町単独事業として見込んでいた。しかし、県との協議で国の補助を受けられることになり、変更増をお願

いするものだ。

可決された議案

秋田市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更
秋田市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少

美郷町と大仙市との県営ほ場整備事業（堀板地区）に関する事務の委託に関する規約に係る協議

美郷町国民保護協議会条例の制定

美郷町国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定

美郷町特別職報酬等審議会条例の制定

工事請負契約の締結

工事請負契約の一部変更（3件）

財産の譲与について

仙南村種苗センター設置条例の廃止

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

美郷町教育委員の任命につき同意を求めること

指定管理者の指定（あったか山など13件）

美郷町六郷温泉施設の設置及び管理に関する条例の制定

同、千畑複合温泉施設

同、千畑生産物直売所

同、道の駅雁の里農業振興施設

同、手づくり工房湧子ちゃん

同、ニテコ名水庵

同、あったか山直売所

同、アクティセンター

同、青少年研修施設

同、陸上競技場

同、障害者福祉施設サンワーク六郷

同、いきいき館

同、老人福祉センター清水苑

平成17年度美郷町一般会計補正予算第8号

平成17年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第3号

平成17年度美郷町老人保健特別会計補正予算第2号

平成17年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第5号

平成17年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第4号

2 臨時会を開く

第9回臨時会

平成17年10月19日に開かれた臨時会では、工事請負契約案2件と、平成十七年度美郷町一般会計補正予算を審議しました。

補正予算では、歳入歳出それぞれに346万円



工事中の大坂橋付近

を追加し、補正後の予算総額が126億5千819万5千円となりました。

以下、本会議での主要質疑と答弁を要約しお伝えします。

大坂善知鳥外川原線改良舗装工事請負契約の締結

工事日数 いつまでかかる

鈴木(一)議員 工事箇所は、どのあたりまで延びるのか。また、鳥居の撤去、建設も行うようだが、その関係でかなり日数がかかると聞いているがいつまでか。

建設課長 今回契約する工事は、大坂橋の前後20メートルを施工するものだ。鳥居の箇所については、第1工区で発注済みだが、なかなか部材が揃わず若干遅れている。しかし、3月末の工期には完成予定だ。

その他可決された議案

六郷東部地区簡易水道新設工事請負契約の締結
平成17年度一般会計補正予算

第10回臨時会

平成17年11月28日に開かれた臨時会では、美郷

町職員給与の条例改正や一般会計補正予算を審議しました。

美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
《賛成多数で可決》

不利益不遡及に 反している

吉野議員 今回の改正では、一たん与えた給与をさかのぼり期末手当で調整する。これは、不利益不遡及の原則に反しており、労働者にとって理不尽な内容だ。

総務課長 平成17年4月時点の民間との比較により、官民格差相当分を解消させるものだ。

吉野議員 役場職員の給料が、地域経済に及ぼす影響は大きい。県内の経済状態から、景気回復の一環として給料を考えることも必要と思うが。

総務課長 勧告は、それも網羅した上での発表だ

と理解している。

【反対討論】

吉野議員 給料表の改正は、町財政を勘案して仕方ないとしても、期末手当で減給調整する不利益の遡及は、法律の原則に反している。職員のやる気を損なう今回の改正は、町づくりでの費用対効果を勘案してもマイナ

スと考える。

武藤議員 秋田県は全国で最低レベルの賃金水準といわれ、特に奥羽山麓のこの地域が最も低いとされている。今回の改正

は少子化に追い打ちをかけ、民間のさらなる賃下げを引き起こして、地域経済を圧迫すると思うので反対する。

その他可決された議案

平成17年度一般会計補正予算
平成17年度簡易水道事業特別会計補正予算
平成17年度下水道事業特別会計補正予算
平成17年度農業集落排水事業特別会計補正予算
今回の補正予算では、全て歳入歳出の増減がありません。

前美郷町議会議員の村田薫さんより、9月定例会で質問し『議会だより第5号』に掲載された自分の発言に誤りがあり、お詫びし訂正する内容のお手紙が届きましたので掲載します。

『9月定例会で私が質問した六小と仙南西小の給水施設は、学校側でしっかり対応しており、確認が不十分の発言だったことをお詫びし訂正いたします。』

村田 薫

交流都市を表敬訪問

(茨城県かすみがうら市・栃木県那珂川町・東京都大田区) 11月16日～18日



表敬訪問したかすみがうら市(千代田庁舎前にて)

新しく選ばれた22名の議員が、旧町村ごとに交流のあった三自治体の視察研修に行ってきた。報告した。内容について、報告いたします。

初日の茨城県かすみがうら市は、霞ヶ浦町と千代田町が合併し誕生した市で、旧千畑町と交流のあったところ。琵琶湖に次ぐ面積を誇る霞ヶ浦と日本一のレンコンの産地、また、全国有数の

生産量を誇る梨をはじめとする果樹栽培が盛んなところ。観光面では、霞ヶ浦環境科学センターが有名で、自然と調和した快適なまちづくりを基本理念の一つに掲げてよりよいまちづくりを進めているとのことでした。

二日目、栃木県那珂川町は、馬頭町と小川町が合併し誕生した町で、旧仙南村が中学生を中心に交流を進めてきたところ。産業は、山林、畜産、園芸ハウス栽培が盛んな町です。観光面では、馬頭温泉郷、関東最大規模を誇るカタクリやシヨウジヨウバカマなどが3ヘクタールに及び群生するカタクリ山公園、また、芸術とふれあう「馬頭・広重美術館」など多数の美術館があり、歴史と伝統を感じさせる町でした。

三日目、東京都大田区は、旧六郷町と交流があったところ。11月5

日に開催された「OTAふれあいフェスタ」では、「友好都市提携」と「災害時における大田区と美郷町との相互応援に関する協定」が町長出席のもとで締結しました。

また、これまで旧六郷町が物販交流や雪国体験交流などを行ってきたが、今回の締結により、美郷町として幅広く交流



大田区 西野区長と懇談

を深めることも可能になりました。さらには、日本最大の大田市場に美郷町の農産物出荷の道も拓けるのではないかと期待が持て、美郷町にとって大きなプラスとなった気がいたします。

いずれの交流地でも、将来永く交流することを目指し、3日間の研修を終え家路につきました。

9人の議員が町政を問う

質問 県道角六線

歩行者の安全確保を

美郷町でも要望している

答弁



武藤 威議員

質問

県道角六郷線は、全域で拡幅改良の願いが出されている所だが、特に下相野付近、及び旧六郷千畑境から、塚地区までの歩道が早急に必要だと思つ。

通学児童や歩行者にと

つて、冬期間は特に危険な目に遭うという地域住民の声がある。 県道なので、すぐには難しいだろうが、せめて側溝を改良し、フタをかけるなどして歩行者の安全確保を図るべきと考え、町長の見解を伺つ。

答弁 町長

この路線は、国道13号線と105号線を結ぶ主要地方道として位置づけられており、美郷町にとつても町内を縦貫する幹線道路として重要な県道

と認識している。そのため、この拡幅改良については、これまで各旧町で県に整備要望してきており、美郷町としても要望活動を展開している。

県からは、交通状況を踏まえ、これまでの取り組みにもご理解をいただき、今年度から小荒川、下相野地区において歩道整備に向けた取り組みを



県道角六線（塚地区交差点付近）

していただいている。今後とも、美郷町全域における歩道整備、道路改良整備、側溝改良など、緊急的な対応についても併せて要望していきたい。

道路改良の見通しは

一部を後期計画で整備

質問

東外川原線、善知鳥坂、山根、座堂、上内村に至る道路であるが、町の主要道路の一つと考える。 通勤、通学、それに大型トラック、ダンプなど交通量が年々増えているが、カーブが多いため見通しが悪く、危険箇所が多いということ、前々から改良要望の出ている道路である。 安全に通行、通学できるように、歩道設置など、道路の改良を行う考えはないか伺つ。

答弁 町長

この区間の延長は6キロメートルと大変長く、整備には長い事業期間と多大な事業費が見込まれる。そのため、区間を分割し、まずは、湯竹、山根、座堂、上内村間の延長約2キロメートルの区間を優先していくこととし、現段階では美郷町総合計画の後期基本計画期間内に整備する予定だ。 それ以降の区間については、当該区間の整備が完成した後に検討したい。

また、その間の交通安全対策については、地域住民全体の交通安全に対する意識啓蒙を図っていくほか、道路利用者の危険意識啓発に向けた危険箇所への警戒標識の設置など、施設整備に努めた

質問 18年度予算編成 財政難での工夫は

財源を最大限に活用する **答弁**



吉野 久議員

したい。また、既存施策の見直しや事業の重点化、受益と負担の関係を意識した公平性の確保に配慮し、限られた財源を最大限に生かしたい。経常的経費を抑制して、投資的経費に財源充当することを基本姿勢とし、現実はかなり厳しいが、町村での望ましい経

常収支比率75%を目指してバランスを取りたい。総合計画での美郷の将来像「住んで良かった、住み続けたいと思えるまち」の実現に向けて、総合的な行政展開をする。その上で、地域融和の一層の推進、水環境の保全推進、ボランティア活動の推進、食農・食育の取り組み推進、農・商・連携活動の推進については、十八年度の重点事項とし施策展開したい。

要とする。また仮に、既存庁舎の増改築や分庁方式継続でも、新庁舎建設に留保した特例債の他事業への活用を図るべきだ。新設合併した町として、新庁舎問題は避けては通れず、多岐にわたる議論と結論、町民への説明責任があるからこそ、早急な議論の開始が必要と考える。またこの問題には、先送りせず合併協議に関わったもので結論すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

す状況ではないと認識している。しかし、今後住民ニーズや行政組織体制、財政状況など行政環境の変化に沿って、しかるべき時期に議論に着手し結論を見いだす必要性も認識している。決して、先送りをしたものではない。なお、合併特例債は、償還の7割が交付税参入される有利な起債であり、充当できる事業に積極的に充当する。しかし、借金には変わらず、単年度や10年間の起債総額に留意し活用したい。

質問

自主財源が乏しく、十六年度決算の経常収支比率95・5%の町が総合計画で町民に示した具体目標の実現には、予算編成での工夫が必要だ。十八年度予算編成について、町長の方針を伺う。厳しい予算編成のうえで留意する観点。経常的経費と投資的経費のバランス。まちづくりでの政策上重要と考え重点配分する分野。

答弁 町長

歳入は、厳しい環境にあり、国の交付金や県の補助事業などの確保に努め、町税収納率向上など、自主財源の確保に留意したい。また、町債での財源確保は、後年度に財政を圧迫しないよう、起債総額に留意したい。歳出は、施設の維持管理費や一般行政経費の効率化、スリム化を図り、できるだけ政策的経費や投資的経費に財源を配分

役場庁舎 早急な議論の開始を

しかるべき時期に着手

質問

法定協では、新庁舎問題について、あえて先送りした感がある。合併目的の一つに、行政のスリム・効率化があり、行政組織の連携や分庁舎の維持管理費を考えれば、新庁舎建設が既存庁舎の増改築による庁舎一元化が望ましい。一方、

町民の利便性、均衡ある町の発展、町財政や更なる合併の可能性などを勘案すれば結論は難しい。しかし、合併特例債の適用は、10年間に限られている。仮に、新庁舎建設を決定しても、その位置や規模、土地取得、周辺道路整備など全体計画に更なる議論と時間を必

要とする。また仮に、既存庁舎の増改築や分庁方式継続でも、新庁舎建設に留保した特例債の他事業への活用を図るべきだ。新設合併した町として、新庁舎問題は避けては通れず、多岐にわたる議論と結論、町民への説明責任があるからこそ、早急な議論の開始が必要と考える。またこの問題には、先送りせず合併協議に関わったもので結論すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

答弁 町長



質問 防犯対策に通学バス利用を

遠距離通学対策で運行

答弁



中村利昭議員

質問

広島市安芸区と栃木県今市市の小学校一年生女子児童が、下校途中に相



集団登校する子どもたち

次いで殺害されるといふ事件が発生した。連日報道された新聞の写真やテレビの映像を見ると、この地域の風景とは余り変わりなく、人ごととは思えない。

子どもたちの安全を守るため、PTAや町内会などによるさまざまな取り組みが行われているが、親や家族の不安が完全になくなるわけではなく、そのためには、現在運行している通学バスの

運行範囲を通学距離に関係なく拡大すべきと考え

答弁 教育長

現在町では、旧町村のバス運行基準を引き継ぎ、学校の統廃合に伴う遠距離対策として千畑地区、六郷地区の一部で運行している。

子どもたちの安全を考えた場合、確かに通学バ

分庁方式は適切か

望ましいとは思っていない

質問

分庁方式や各課の割り振り、合併協議会で決定し行政運営されているが、時間の経過とともに、住民から直せるところは直すべきとの声がある。

町長は現在の分庁方式を現状で最良と考えるか。

また、行政は縦割り社会と思うが、各庁舎に割り振りされている各課の体制を最良と考えるか。最後に、合併協議会資

入は有効な手段であると認識しているが、全児童1千800人に対することは、現実的に大変難しい問題であり、町としては今後も遠距離通学対策として運行してまいりたい。

また、子どもたちの安全に対しては、学校、保護者、地域、行政が一体となつて取り組んでいく必要があると考えている。

料の新町財政計画と、美郷町総合計画の財政計画に数値の差異が生じている。その理由と、その違いをどう捉えているか。

答弁 町長

分庁舎方式は、決して望ましい方式とは思っていないが、庁舎建設については早急に結論をだす状況ではなく、しかるべき時期にそうした議論が必要なものと理解してい

る。

現在の課あるいは職員の配置については、退職者分の職員補充を抑制して職員数が目標に近づいていくようにし、課の体制については職員の推移を踏まえて議論しなければならぬと認識している。また、その過程において職員研修の充実強化、あるいは他機関との人事交流などを推進し、職員の能力向上に努め、住民ニーズに応える行政サービスを展開していく。

新町財政計画と美郷町総合計画での差異については、現在、三位一体改革の推進や税源移譲、地方交付税の削減、構造改革の取り組みなど、当時の想定に比べ歳入において差異が生じている。

その差異を埋めることは非常に厳しいが、歳出の部分で歳入に見合った取り組みをしながら、目標とする美郷町になるよう努力したい。

質問 職員が働きやすい職場環境の構築を

職員給与の平準化は困難 答弁



鈴木良勝議員

質問

働きやすい職場環境を構築する上での課題は、たくさんあると思うが、その中で最も重要な課題の一つに職員給与の問題がある。

合併後、職員給与の均衡は図られているのか、いるとすれば何ら問題はないが、もし、そこに差異があるとすれば、是正の必要がある。申すまでもなく、職員給与というのは生活給であり、そこ

に格差、差異があつては職場環境はもちろん、仕事に対する士気、さらには人間関係にまで影響を及ぼす大きな事態と思う。

町には300人ほどの職員がいると聞くし、また旧町村時代の給与体系、これも違いがあるの

で、一朝一夕に事は運ばないことは十分承知しているが、少々時間をかけても、是非とも見直しに着手していただきたいが

答弁 町長

町長の考えを伺う。それから、参考までにラスパイレスも伺う。もう一つは、現在人事院では職能給の導入を検討されているようで、近い将来国家公務員には導入される見通しと聞くが、美郷町としてはどのように対処、対応しているのか伺う。

職員給与については、採用時の職歴や採用時の試験区分によって初任給の号俸が決定され、その後、基本的に1年に1度定期昇給していく制度となっている。また、特に職務成績が優秀である場合は、特別昇給させる規定がある。また、長期休暇、休職、あるいは懲戒処分などにより定期昇給の延伸がある。

旧町村の職員が美郷町職員に切り替わる時点では、それを引き継ぎ給与が支給されているが、美郷町としては一般職員の給与に関する条例などで規定し、その基準により支給されているところである。現在の職員給与が

そうした職員それぞれの過去の実績に応じて決定されている以上、年齢や勤務年数、職位などの比較によって平準化することは困難である。

職員が住民サービスの提供に向けて一生懸命に頑張り、そのことが給与として評価されることは、活力ある職場環境、あるいは働きやすい職場環境に大切なことと認識している。美郷町としても職務に精励し、特に優秀である職員には、特別に昇給できる措置を規則に規定しているの

で、スパイレス指数は、美郷町においては90・9である。

人事院が勧告した職能給の導入については、人事委員会を持たない本町にとって、国公準拠の原則により人事院勧告に沿って給与などを条例で定

めているところであるが、本年の人事院勧告では、大幅な改正勧告があった。今後とも人事院勧告に沿った各般の取り組みをしていくことが行政運営の安定に寄与するものと考えている。



働きやすい職場環境を

質問 友好都市交流から地域活性化へ

大田区が農産品共同購入検討中

答弁



深沢義一議員

のOTAふれあいフェスタにおいては、178万円の販売をし、その後もお米やお酒、漬物などの注文もあると伺っている。

さらに、大田区産業振興会より勤労者共済事業の一環として、美郷町の

農産品の共同購入事業を検討している旨の連絡があり、町としてもぜひこの事業を進めていきたいと考え、今後、農協や直売所などと対応について協議していく。

誘客に向けたPRを

情報発信に努める

質問

当町は自他ともに認める自然豊かな町であり、

新イベントが必要だ
有意義と考える

質問

観光誘致についてはお祭りという面があると思うが、六郷のかまくら行事は国の重要無形民族文化財に指定されている有名な行事であり、さらなるPRと併せてアクセスについての情報提供が大事と思う。また、観光客はもとより、町民みんなが楽しめるような参加型の新たなイベントも必要と考えるが。

答弁 町長

町内3温泉などの宿泊施設を休養地として活用していただき、さまざまな行事に参加していただけるよう、心くつるげる美郷町全体の魅力を、物販やホームページなどを通じ、情報発信やPRに努める。

また、農業体験ツアーも含めた観光交流企画を、大田区や観光関係機関と協議していくほか、芸能文化面での交流も検討しながら、新たな観点での催しも模索していきたい。

答弁 町長

竹うちについては、その魅力をさらに理解してもらえよう情報提供、PRに努める。新たな町民参加のイベント開催は、地域の融和を推進するという観点でも有意義なことだと思うが、どのような切り口でのイベントが良いのかを今後十分に検討したい。

質問

旧六郷町との交流からスタートした大田区との交流も、美郷町としても正式に友好都市提携を結び、さらには災害時における相互応援に関する協定を結んだところである。

さまざまな生産、栽培を行っている当町と人口約65万人という大消費地大田区との関係は、当町にとって経済の活性化にもつながる大変大きな財産であると思う。

答弁 町長

美郷物産の拡販に向けて、町と関係団体の連携によるプロジェクトチームを立ち上げ、こちら側からの積極的なPR、働きかけを進め、産直やアンテナショップといった販売システムの構築を目指すべきと思うが。

大田区との物販については、平成3年の交流以来継続しており、その販売額は年々増加し、こと



大盛況のOTAふれあいフェスタ

質問 引き上げるな公共料金

受益と負担の関係は普遍的行政課題



泉美和子議員

質問

三位一体の改革により自治体財政も厳しさを増すばかりだが、住民の暮らしが大変なときだからこそ住民生活に直結する使用料、手数料など、公共料金の引き上げを行わないよう求める。

また、新年度においては、あらゆる財政措置で国保税の値上げを抑えることを求める。

答弁 町長

受益と負担の関係は、社会・財政環境を踏まえながら判断しなければならぬ、普遍的な行政課題であることに共通理解

町単独の子育て支援を

2月から自己負担全額助成

質問

9月定例議会で乳幼児医療費無料化制度について一般質問したが、町長は町単独の支援策の検討を示した。新年度予算に向け、どのように検討しているのか伺う。子育て支援策、とりわけ経済的負担軽減については、町民の切実な要望でもあり早期の実現を求める。

答弁 町長

今般18年2月診療分から、町単独事業として未

をお願いしたい。

次に、国保税については、医療費適正化対策を講じ、医療費などの抑制に努めるとともに高度な医療による高額医療など、突発的な事由にも安定感を持つて運営をしていくことが求められるのでご理解いただきたい。

就学児までを対象に、一部自己負担分の全額助成をしていく考えを固め、今回の定例議会にそのための準備費用を補正計上している。

18年2月診療分の医療費助成にかかる予算執行は、来年4月となるので、助成にかかる費用は来年度当初予算で措置したいと考えている。

また、子育て支援については、町として出来る範囲の中で施策を充実していきたい。

敬老会 内容を検討すべきだ

敬老の気持ちが伝わる内容に

質問

今年の敬老会は、総じてよかったという声ではなく、残念ながら「がっかりした」、「良くなかった」、「こういふ声が圧倒的だったように思われる。今後の敬老会のあり方について再検討すべきではないかと考えるが、町長の見解を伺う。

答弁 町長

町としては、高齢者を敬愛する念に変わりはな

いが、個人情報保護のため名簿を配布できなかった。長寿祝い金の支給を敬老会に一括してではなく、誕生月の翌月に一人ひとり支給していること、また、はり・きゅう・マッサージ、温泉保養所無料入浴券助成などの予算を充実させたことなど、事前に説明すべきだったと反省している。

来年度は敬老の気持ちがあっさり伝わるような開催内容に努めたい。



敬老会での余興

質問 通学にスクールバスを

地域一体で子供を守る

答弁



鈴木 一議員

通学対策として考えている。

これまで通学には、健康や体力づくりなどにも配慮しながら地域と警察の協力のもと、子ども女性110番の家などを設置し安全確保を図ってきた。

た。しかし、最近の事件などを踏まえ、これまでの防犯指導隊のパトロール、防犯灯整備に加え、子ども見まもり隊のステッカーの添付を、公用車のみならず関係団体や地元企業、町民各位に呼びかけていく。子どもの安全を守るためには、行政、学校、保護者だけでなく、地域一体で取り組むことが必要と考える。

えているのか。

答弁 町長

昨年10月14日、コクドから今期休業の申し入れがあった。町としては、これまで営業継続の要望をしてきたので残念だ。西武グループは、鉄道沿線事業を行う西武鉄道株式会社、レジャー事業

身障者への温泉割引を

新制度の中で検討する

質問

町内で身体障害者の適用保持者が1千352人いる。その人達の健康のためと会員同士の交流を深めるために、温泉割引券の発行は考えられないか。

答弁 町長

障害者への対策として、町単独で、透析通院者への助成や重度の障害者に対する介護手当の支給を行っている。サンワーク六郷においては、身体障害者デイサービスを行う株式会社プリンスホテル、そして、それを総括する西武ホールディングスを18年3月に設立予定と発表している。千畑スキー場についても、これから新会社で検討されるものと思う。町としては、県とも連携し、継続できるよう働きかけていく。

質問

今は車社会で車の通行量も増えており、また歩道の整備されていない道路を通学している子どもたちも多く、交通事故や各地で発生している通学時に犯罪に巻き込まれるケースなど、子どもを持つ家庭の不安は増している。保育園児や幼稚園児はスクールバスで通園しているが、小学生の安全や将来の児童生徒数の減少による学校の統廃合など

を考えた場合、スクールバスでの通学は考えられないか。

答弁 町長

子どもの通学の安全対策として、スクールバス運行は有効な手段の一つであるが、集落が点在している美郷町では、小学校が7校あり、登校や下校の時間に合わせる事やバス確保、運行経費など財政面で現実的に困難だ。現時点では、遠距離



スクールバスによる登下校の様子

千畑スキー場

存続できるよう働きかける

質問

今冬は例年になく大雪で、スキー場にとってはチャンスだと思いが、千

町の対策は

畑スキー場は今シーズン営業中止と聞いている。コクド側の説明はどうか、町の対策はどう考

質問 どう進める 新たな経営安定対策

集落営農等支援チームを立ち上げる

答弁



熊谷隆一議員

質問

平成19年から実施されようとしている新たな経営安定対策は、品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地、水、環境保全対策を内容とする政策で、これまでの全農家対象から、担い手と呼ばれる4ヘクタール以上の認定農業者や20ヘクタール以上の法人が、それに準ずる集落営農組織が対象といわれている。とらえようによって



は、農家の選別政策であると思うし、美郷町の農業を考えた場合、なるべく多くの農家が対象となるようにするべきだと思うが、各農家、地域に対する事業内容の説明は

答弁 町長

10月に農水省から新たな経営安定対策大綱が公表されている。その中では、これまでの全農家を対象にした品目別対策から担い手と呼ばれる一定規模以上の経営体を対象にする品目横断的経営安定対策へ移行するとある。

どのように行うのか。またこの政策は難しく、厳しい内容なので、農政課だけでなく、農業委員会、JA、土地改良区など関係団体の連携が必要であり、ワンフロア化は考えられないか。また、組織が立ち上がった場合に、事務作業に困難を極めることが予想されるので、役場やJAなどを退職した人達から事務を手伝ってもらおうような仕組みづくりが考えられないか。

この事業の趣旨及び自身の情報について、1月から各集落、地区単位で参加しやすい形で説明会を開く。集落などから要請があれば、夜間、祭日も対応する。

関係団体とのワンフロア化については、事務室の確保や関連業務などの関係から現段階では難しいが、事務の効率化や連携強化などの利点もある。インターネットや効率的な事務機器を活用して、情報の共有、交換を図り、農家の要望や相談に応じていく。

この事業では、各経営体は事務作業を含めて、いわゆる自立が求められる。個々の組織で自立対応することが基本である。ただし、行政としては、取り組みが円滑に進むよう、JA、土地改良区、農業共済、農業委員会など、関係機関で集落営農支援チームを立ち上げ、各般の指導支援をしていく。

地下水に新たなルールを

啓蒙を図り取り組む

性と湧出量の減少を防ぐために、条例化を含む新たなルールづくりは考えられないか。

質問

美郷町は、六郷地区を中心に清水の町と言われており、地下水は大事な観光資源でもあるが、飲料水など生活用水としても大切な資源となっている。

答弁 町長

千畑、六郷、仙南、各地区とも飲料水は地下水を利用して利用している。美郷町の地下水が、将来にわたって量的にも質的にも安全、安心できる水となるように、不法投棄の防止、涵養池の管理、節水などが町民にも啓蒙を図りながら取り組んでいく。



質問 羽貫谷地地区 水道への対策は

近隣簡易水道と統合可能か調査する

答弁



澁谷俊二議員

質問

羽貫谷地簡易水道は、昭和58年に給水が開始されたと聞いている。しかし、現在はかなり汚濁が激しく、飲料水はおろか、生活用水としてもためらうと感じる状態だ。地域の方々は地下水をくみ上げ、自家水道として使用している状況である。

掘調査したが、実はこの一般質問通告書を提出する時点では、まだその結果が出ていないとのことであったので、その結果について伺いたいと記していたが、その後調査結果が出たようだ。



水源調査の様子

でならない。人間が生きていく上で、水は本当に欠かせないものなので、この調査を踏まえ、今後どのような対応、対策を考えているかを町長に伺う。

答弁 町長

羽貫谷地地区水道への対策だが、新たな水源を求めて9月に羽貫谷地と隣接する下畑屋地区に調査井戸を試掘した。水量

は十分だったが、水質が悪い結果だった。そのため、羽貫谷地地区内で、11月に新たな試掘をした。この場所の水質も、先の試掘と大差なく残念ながら水源としては満足できるものではなかった。

再質問

この地区の水道整備については、美郷町総合計画の中にもうたっている。住民は今大変苦しんでおり、早期の実現を望むところだが、いつ頃になるか聞きたい。

また、このような問題を抱えているのは、この地区に限ったことではないので、今後これらの水道事業についてどのような考えを持っているのか併せて伺いたい。

答弁 町長

羽貫谷地地区については、まず水源の確保のための調査に努め、それが確保できる見通しがついた後に、どのような形できるかを検討したい。

傍聴記



美郷町土崎 鈴木豊文

12月24日、美郷町誕生2年目の議会を傍聴させていただきました。

私の時間の都合上、午前中の傍聴しか出来ませんでした。少し感じたことを上げてみたいと思います。

当日は、6議員の質問を聞かせていただきました。質問と答弁が、今回はあまりにもあっさり終わってしまったことに、多少がっかりもしました。それが町として、できる限りの方策を施している結果なのか、よく解りませんが、もっと質問をぶつけることが出来たのではないのでしょうか？30分の持ち時間がもつたいないように思いました。

3町村合併したこと、さまざまな問題を

抱え、今後、議会運営がなされていくと思いますが、うしろに町民の声が大きくあることを、わかつていただきながら、よりよい町創りにご尽力くださいますようお願いいたします。

美郷町上深井 照井 治

改選後、初の定例議会。激戦の選挙を勝ち抜いた議員の皆さんが、美郷町民の代表としてどのような質問をするのか興味を持って傍聴した。

様々な質問や意見の中には、自分が関心を持ったものや、そうでないものもあつたが、それぞれの議員の熱意が伝わってきた。

だが選挙時の熱狂ぶりに対して、傍聴人が少なく、町民の議会への関心の無さを感じた。

選挙戦同様、町民と議員が一緒になつて美郷町の抱えている問題に取り組んでいくことも重要だと思ふのだが...

六郷地区60代女性

傍聴席について、議場のすばらしさに、まずお

どろきました。こんな立派なところで町民の大切な財産が審議されているのだと。

議場に一礼して入場する議員さんたちも又、立派でした。

道路問題、新年度予算、子ども防犯問題、福祉問題等々、定められた時間内に質問、応答が進行出来るのも、議員さんの勉強で要点をしぼつて質問出来るからではないでしょうか。

質問内容が同じだったり、自分たちが決定した予算等についてぶり返しの質問だったりすることのないように、議員さんたちの頑張りを期待したいと思います。



陳情

定例会初日に3常任委員会に付託された陳情9件を、最終日全員賛成で採択し、意見書を提出しました。

佐竹公館址の拡張、環境整備に関する陳情書
六郷史談会会長 高橋悦央

美郷町文化財保護協議会会長 森本彌吉

介護保険の改善を求める陳情書
秋田県社会保障推進協議会会長 他2名

患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める陳情書
秋田県社会保障推進協議会会長 他2名

社会保障制度充実と最低保障年金制度創設を求める陳情書

全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 他2名

庶民増税の中止をもとめる陳情書
秋田県消費税廃止各界連絡会代表委員 他2名

陳情書 子宮頸ガン検診の逐年施行のお願い
日本産科婦人科学会秋田地方部会長 他2名

安全でゆきとどいた医療・看護をするために、看護職員の人手不足の緊急改善を求める陳情書
秋田県医療労働組合連合会執行委員長

地方交付税、地方財政の確保に向けた意見書採択を求める陳情書
日本自治体労働組合連合会秋田県本部中央執行委員長

法務局の増員に関する陳情
全法務省労働組合東北地方本部秋田地方法務局支部大曲分会長

議会の動き

11月 16日、18日
議員行政視察

22日 議会運営委員会
28日 第10回議会臨時会
議会全員協議会

12月 7日 議会運営委員会
12日 議会広報特別委員会
13日、16日 議会全員協議会

14日 第11回議会定例会
15日 議会広報特別委員会
15日 総務常任委員会

14日 教育民生常任委員会
15日 産業建設常任委員会
27日 産業建設常任委員会

1月 6日 議会広報特別委員会
16日 議会広報特別委員会
20日 議会広報特別委員会

23日、24日 産業建設常任委員会
26日、27日 総務常任委員会

シリーズ キラリ美郷人 みさとにん VOL.1

このシリーズは、仕事や趣味、ボランティア活動などいろいろな分野で活躍し輝いている美郷町民にスポットをあて紹介するコーナーです。



美郷町野中宇宮崎にお住まいの齋藤明宏さん(37才)は、インターネッット上に『ナチュラルサービス』というホームペーページを開設し、オリジナルの木製プランターやフェンスを販売している方です。

1月6日、広報委員が自宅兼仕事場におじゃま

美郷町議会議事事務局 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場・千畑庁舎) TEL.0187-84-1111代表 FAX.0187-85-2107URL http://www.town.misato.akita.jp

齋藤明宏さんの電子メールアドレス

saito@naturalservice.com

『ナチュラルサービス』ホームページアドレス

<http://www.naturalservice.com/ngc/>

『町おこし商店街』ホームページアドレス

<http://www.naturalservice.com/>

を手にした。インターネッットを知り、それまで地方で暮らせるイメージを持ってなかったが、これなら都会も地方も同じと思

木工品を手がけた理由

「実家は、農業と大工をやっている。最初は、農業再生の事業を目指したが難しく、機械科出身の私でも簡単な木工品ならできるだろうと思っ

た。山で拾った小枝を使って作ったプレートが最

初の試作品だ。そのままではただの小枝でも、手を加えれば都会の人は喜んで買ってくれる。自分にあつたやり方を見つけたような気がした。」

インターネット販売の利点は:

「店舗販売では、相当の数量を問屋経由して納める。しかし、インターネッットではホームページに試作品を載せるだけで、1個から販売でき、低リスクで始められる。また、メールでの相互通信で、お客様が望むオリジナルの製品をお届けできる。」

これからインターネット販売をしたいと思う方へのアドバイスは:

「ホームページの作成は、業者に全て任せるのではなく、自分のコンテンツ(内容)を持つこと。商品は、数多く載せるのではなく、自信を持って売りたいものだけを掲載すること。また、広告料を払わなくても、検索ペ

ージの上位にくる工夫をすること。」

最後に、齋藤さんが現在試みている、美郷町民誰もが参加できるネッット上での『まちおこし商店街』の夢を語ってくれました。そして、「インタ

ーネッットの世界は、子育て中の主婦にも、大企業の社長にも平等にビジネスチャンス与えてくれます。しかし、チャンスをつかめるのは行動する人だけです。」という言葉が印象的でした。

編集後記

去る11月6日、「第31回後三年更生園祭」が、さわやかな秋晴れの下で行われました。私も教育民生常任委員という立場でご案内をいただき、出席させていただきました。



あいさつの後、利用者、職員による演芸発表が始まり、園生達が一生懸命に芸に取り組む姿を拝見し、強い感動を覚えしました。知的障害という重いハンデを抱えながらも必死に芸に取り組む姿勢、この姿勢こそが私たち議

会人に求められるものではないかと、今さらながら認識させられました。

感動をありがとう!!
「ガンバレ園生」

鈴木良勝